

1. 授業の概要(ねらい)

小学校音楽科における目標、内容、方法、評価についての基本的事項を理解した上で、「表現」と「鑑賞」の具体的な内容を実践しながら、指導に必要な知識・技能を習得する。また模擬授業の立案と実施を通して、指導するための実践力を養う。

2. 授業の到達目標

- ①小学校音楽科における目標、内容、方法、評価について理解する。
- ②「表現」と「鑑賞」の具体的な内容に触れることにより、各分野に必要とされる知識・技能を習得する。
- ③模擬授業の実施を通して、授業を構成し実践するための指導力を身に付ける。

3. 成績評価の方法および基準

- ①グループ発表 30%
 - ②模擬授業の立案と実施 40%
 - ③総括的なレポート 30%
- これらを基に総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

初等科音楽教育研究会編 『最新 初等科音楽教育法』 音楽之友社
文部科学省編 『小学校学習指導要領解説-音楽編-』
その他必要に応じて、資料を配布する。

5. 準備学修の内容

- ①日常生活において、身の回りに流れている音や音楽に敏感でいること。
- ②児童が興味・関心をもつ音楽を把握しておくこと。
- ③音楽を他の媒体で表現すること、音楽で何かを表現することについて意欲的に取り組むこと。

6. その他履修上の注意事項

- ・音楽に触れる機会をできるだけ多くもつよう心がけること。
- ・集団で行う音楽の楽しさや素晴らしさを感じられるよう、授業内の課題には積極的な姿勢で臨むこと。
- ・器楽の授業でソプラノリコーダーを使用するので、予め用意しておくこと。

7. 授業内容

- | | |
|--------|---|
| 【第1回】 | 授業ガイダンス、音楽科の目標、内容、方法、評価 |
| 【第2回】 | 表現：歌唱共通教材と歌唱指導における留意点
グループディスカッション |
| 【第3回】 | 表現：歌唱活動(パートナーソング・輪唱)
グループ発表 |
| 【第4回】 | 表現：歌唱活動(パートナーソング・輪唱)
グループ発表 |
| 【第5回】 | 表現：器楽指導における留意点
グループディスカッション |
| 【第6回】 | 表現：器楽活動(ソプラノリコーダー)
グループ発表 |
| 【第7回】 | 表現：音楽づくりにおける留意点(リズムカードによる音楽づくり)
グループディスカッション |
| 【第8回】 | 表現：音楽づくりの活動
グループ発表 |
| 【第9回】 | 鑑賞：鑑賞における留意点
グループディスカッション |
| 【第10回】 | 指導案の立案と模擬授業について
グループディスカッション |
| 【第11回】 | 模擬授業①：歌唱活動
グループ発表 |
| 【第12回】 | 模擬授業②：器楽活動
グループ発表 |
| 【第13回】 | 模擬授業③：音楽づくり
グループ発表 |
| 【第14回】 | 模擬授業④：鑑賞
グループ発表 |
| 【第15回】 | 音楽科指導法における総括 |